

オープンネットワーク

フィールドネットワーク採用のメリットは？

省配線

工数削減

が上位に

CC-Link協会では、昨年行われたシステムコントロールフェア(SCF)とSEMICON Japanで、来場者に対してアンケートを実施したが、このほど結果をまとめた。いずれのアンケートでも、フィールドネットワーク採用のメリットとして、省配線と工数削減が多く、逆に採用しない理由として、接続製品が少ないことがあげられている。

—CC-Link協会—

SCF、SEMICON Japan来場者アンケート

一方、SEMICON Japanでは1411人が回答。採用中のSensors or Actuator Network(SAN)は、CC-Link16・8%、DeviceNet15・8%と両者がほぼ同率であったが、「未採用」が42・4%と最も多く、国内の半導体業界でSANの普及があまり進んでないことが分かった。この結果について、CC-Link協会では「半導体製造設備でのCC-Linkの普及に向けて、プロモーション活動に一層注力し、半導体業界が元気を取り戻せるよう手助けしたい」としている。

SCFでは6040人が回答。業種別ではベンダー製造が24・2%、ベンダー販売が23・7%、ベンダー開発が20・9%と、ベンダーで約7割を占めた。

採用中のフィールドネットワーク(複数回答)は、CC-Linkが41・0%で最も多く、次いでDeviceNet32・5%、PROFIBUS-DP10・7%、ユニワイヤ9・0%と続いている。現在、採用していないという回答は24・3%であった。また、採用していない人に、今後採用する計画のフィールドネットワークを聞いたところ、CC-Link20・3

ベンダーが約7割

％、DeviceNet10・9%、PROFIBUS-DP2・9%などで、採用中と同様の結果であった。採用しているメリット(複数回答)は、「省配線」が69・7%と圧倒的に多く、次いで「工数削減」28・6%、「設備データの収集」18・6%などとなっている。逆に、採用していない理由は、「接続部品が少ない」16・0%、「製品の互換性がない」14・3%、「省コストにならない」10・7%、「パフォーマンスが得られない」8・7%、「省配線にならない」4・9%などとなっており、省コストや省配線、パフォーマンスなどの効率・効果よりも汎用性の高さを求めていることが分かった。

また、CC-Link接続製品で今後充実してほしい製品は、FAパソコン、I/O機器、センサー機器、表示器、サーボ、パソコンボード、インバーター、温度計などの順。

接続製品充実したら採用したい